

令和5年度 稲沢市地域自立支援協議会 第4回就労支援部会 会議要旨

【日 時】令和6年1月23日(火) 午後2時～午後3時30分

【場 所】稲沢市役所 第1分庁舎 2階 第3会議室

【出席者】就労支援部会委員5人 事務局5人

【欠席者】就労支援部会委員1人

あいさつ

【議 事】

1 協議事項

(1) 障害者の就労環境の充実(障害者雇用の普及促進、雇用企業と福祉事業所の連携強化)

部会長 オンライン学習会は、結果として申込者がなく中止となり残念だった。一宮市でのオンライン学習会に自分も参加させてもらったが盛況であったため、稲沢市での反応が非常に意外なものだったというのが率直な感想。

委員 A 一宮市ではオンライン学習会に20社以上集まったので、反応の違いを不思議に思った。一宮市での交流会に稲沢市の企業が参加されていることも一因かと思う。また、一宮市では声を掛けたり、メールを一斉に送ったりするなど、皆が力を入れて周知をした。もう1点、今回、チラシの内容が見学会も全部一緒になっているので、全て丁寧に説明するのは難しく、企業側も色々と説明を聞くと忘れてしまうのではないか。

部会長 一宮市での交流の活発さを見ると、有効性はないわけではないと思う。参考にして次年度の活動につなげたい。また、商工会議所の協力を得て会報に情報掲載をしていただいたことも有効的だった。学校にも丁寧な説明等をしていただき効果ができていると思う。部会の中で、まだ企業のかたに障害者に対する偏見があると言われていたことも踏まえて、次年度は取組みを深められれば良いと思う。ハローワークは、企業にとって無くてはならない存在であり、顔を出していただくことが心強い。

委員 B コロナ前に比べ参加企業は少なかったが、久々に外部のかたに見ていただく機会ができてよかった。積極的に発信していければと思う。TVで、企業のYouTubeを視聴して採用申し込みが増えたというニュースを見たので、学校としてはHPに掲載する程度になると思うが、映像でのアピールも必要だと感じた。正直なところ、障害者への理解が非常に深い企業もあれば、全くないところもあるので、理解促進も含めて取り組んでいかなければいけないと感じた。

部会長 見学会でこういう点を見たかったなどの特徴的な意見はあったか。

事務局 アンケートでは、良かったところを書いていただいたかたが多く、もっとこんなことを、というものは特にない。

委員 B アンケート結果から、授業、特に作業の内容に皆さんが興味を持っていただいたことがわかった。障害特性も色々で、重度のかたから軽度のかたまで一緒に授業を行

っているので、来年、企業側の御協力もいただきながら、実際に企業実習の様子を映像で撮り、こういった見学会の時に、実習内容を映像で観ていただくとイメージしやすいと思う。実際に企業を目指してこういった取り組みをしているのかを上手にアピールできたらと思う。

委員 C 昨年度と違い、活動内容の数が多くなったと思う。全部出来るのかと正直思ったが、事務局はじめ、皆さんのおかげで予定どおり進んだ。私が関わった事業も多く、あらためて勉強し、細かいところなどが自分の中での理解につながった。企業が求人を出す際、オンラインで、マイページというものを開設し、マイページ上で求人内容や変更、取り消しなどを行えるよう拡充している。その中で、企画の案内についてハローワークから各企業に配信できる仕組みがあるので、今後は、この部会活動をより一層、周知していきたい。

部会長 ハローワークでも積極的な広報活動をしていただければと思う。

委員 D 企画自体は非常に練られて良い企画だが、委員や関係したかたのパワー不足だと思う。私がこの部会に就任した3年前は、自身もチラシを増刷し、企業見学の案内をしたが、今回、そういう作業をしていない。次に、障害者雇用の必要性の流れというものが今、きていると思う。人材、人手不足と叫ばれている中で、商工会議所でも令和6年度の事業計画をまとめているが、高齢者や女性のほか、障害のあるかたの活躍の場も入れて計画を作っている。その中で、求人を出している企業が集まる場に、高校・大学の就職担当者と呼んでいるが、特別支援学校もブースを設けてはどうか。企業が興味を示し、障害者雇用を考えてくれるか分からないが、企業から何件かでも問い合わせがあれば成果かと思う。

部会長 参加企業の制限が必要なくらいのイベントが企画できたらいいと思う。来年度の活動で、検討していければと思うので、引き続き商工会議所の協力をお願いしたい。

委員 D 会報誌に、障害者雇用について載せ続けることで、接する機会があれば見に行こうという流れを作る手助けにはなると思うので、小冊でも年間を通して発信していきたいテーマがあれば相談してほしい。

委員 A 見学会への参加者が少ないのはもったいないと思う。アンケートの中に、直接企業見学をしたいという意見が多く、一宮市では見学会事業がないので、一宮市と差別化を図る意味で、見学会のほうが魅力的に感じるかもしれない。まずは周知の方法がどう違ったのかを洗い出し、報告させていただければと思う。別の企業に声かけして新しい風を入れてみると良いと思う。学校見学も勉強になった。見学してお話を聞いたことでより理解ができ、連携しやすくなった。事務局のかたに何でもやってもらってしまっているのでは、委員自身、もう少し努力をしたほうが良いかと反省している。

部会長 稲沢市の部会は部会員数が決まっておられ、事務局に助けられながら運営しているのも事実。次年度以降も部会の活動を続けていく中で、皆さんの積極的な提案等を

- いただき次年度の活動に反映させ、参加企業を1社でも増やせるようにしたい。
- 事務局 今まで見学先は製造業であったが、他の業種について希望するというアンケート結果もあった。また、この見学会を進めていく中で、当事者や保護者も参加できるようにすればいいのではという意見があった。見学会の準備が進んでいる状況で、ハローワークからも、当事者が先に企業と繋がるのは場合によっては問題が起きるかもしれないという意見もあり、方針は変えなかった。
- 委員 A 今まで見学していないところの見学会ができると良い。
- 部会長 企業見学会に当事者や親御さんを含めることは、次年度検討することとしたい。製造業以外の職種は難しい点もあると思うが、候補があれば教えていただきたい。企業から直接、生の声をいただける機会があれば、参加したい。
- 委員 C 以前お渡しした、稲沢市内の企業の業種内訳の中では、半数が製造業だったと思う。次に医療・福祉、運輸、卸売業。
- 部会長 同じ製造であっても、雰囲気も受け入れ方も違うので、業種が同じでも問題ないと思う。
- 委員 A 医療や福祉だと対象者がいるので難しい。小売りもお客様がいる。物流だとトラックなどがある。
- 委員 C 普段訪問する企業は、法定雇用率が守られていないところなので、データを見直してみたい。
- 委員 A 稲沢市内に優良企業があり、一宮市の学習会に参加されていた。
- 委員 B コロナ前には学校見学に来ていただいている。
- 部会長 どういう手順で連絡すればいいかわからないが、紹介していただきたい。お伺いし話をさせていたければと思う。他にも候補があれば紹介していただきたい。

## 2 その他

「もにす認定制度」資料についてハローワーク一宮から説明

市内企業である(株)高瀬金型が、TIY(株)に次いで、もにす認定企業となった。愛知県内で、複数の「もにす認定企業(特例子会社)」を有する市町村は、「名古屋市」に次いで「稲沢市」が2市目。

部会長 認定されると周知されるのか。

委員 C 労働局のHPで企業名と取り組みについて公開している。

部会長 「もにす」のロゴを使用することができるか。

委員 C 可能。ハローワークに出す求人マークをつけることも可能。ハローワーク主催のセミナーや面接会にも優先的に参加していただけるというメリットもある。

今年度最後の部会であるため、部会長からあいさつあり。